学校番号	１１５

平成３１年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年	３年
類型等	文型（選択）						
使用教科書	「高校美術３」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習します。
・様々な素材や道具を扱います。美術Ⅰ・Ⅱで学習した内容を活かし、表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を更に深めていきましょう。
・ルールや条件を守り、意欲的な態度で授業に臨んで下さい。得意・不得意に関係なく、積極的に諸活動に取り組むことで、表現や創造することの大切さが感じられ、感性が磨かれていきます。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動 グループの様子	ワークシート アイディアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
1学期	オリエンテーション	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 教科書を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅲ」の学習イメージを持つ。 ・スケッチ	○ ○	○	○	○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。 b:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c:スケッチの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。	学習活動の様子 制作の様子 作品

	身近なものを描く	【絵画・彫刻】 ・デッサン基礎 ・スケッチ 対象をさまざまな角度からスケッチする。 ・制作 ・相互鑑賞	○	 ○ ○	 ○	 ○	a:デッサンの意義や表現の楽しさを理解し、主体的に制作している。 b:対象をよく観察し、自分なりに工夫して表現している。 c:形体や明暗のとらえ方を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。 d:相互に作品を鑑賞し合い、よさや特徴を感じ取っている。	学習活動の様子 制作の様子 作品 鑑賞活動の様子
	透明水彩で描く	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・参考作品の鑑賞 ・透明水彩の技法の学習 混色と線描きの練習をする。 ・アイディアスケッチ 目的やモチーフから感じ取った形や色を自分なりに表現する。 ・制作 ・相互鑑賞	○	 ○	 ○ ○	○ ○	a:透明水彩による表現に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:モチーフをよく観察し、自分なりに工夫して表現の構想を練っている。 c:透明水彩の技法を理解し表現している。 d: 相互に作品を鑑賞し合い、よさや特徴を感じ取っている。	学習活動の様子 制作の様子 作品 鑑賞活動の様子
2学期	印を彫る	【絵画・彫刻】【デザイン】【鑑賞】 ・篆刻の歴史や技法、表現の特性について学ぶ。 ・アイディアスケッチ（印面、紐） ・制作 ・相互鑑賞	○ ○	 ○	 ○	 ○	a:篆刻による表現に関心を持ち、作品に愛着を持って主体的に制作している。 b:、目的、機能、美しさなどから主題を生成し、工夫して表現の構想を練っている。 c:篆刻の技法を理解し目的や計画を基に工夫して表現している。 d: 相互に作品を鑑賞し合い、よさや特徴を感じ取っている。	学習活動の様子 ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 作品 鑑賞活動の様子
	抽象絵画	【絵画・彫刻】 ・抽象表現の歴史やモダンテクニックの技法について学ぶ。 ・自己の内面や取り巻く状況などから主題を生成し、構想を練る。 ・制作	○	 ○	 ○	○	a:モダンテクニックによる表現や抽象表現に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。 b:自己の内面を見つめて感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、モダンテクニックの特性を生かして、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して主題を追及して表現している。	学習活動の様子 ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 作品

3学期	ポートフォリオをつくろう	【映像メディア表現】 【鑑賞】 ・参考作品の鑑賞、カメラの機能や特性、処理方法の学習 ・作品の良さを引き出す写し方について考え、これまでに制作した作品を撮影する。 ・写真を台紙に貼り、作品説明を考え、キャプション等を作る。 ・相互鑑賞	○ ○ ○ ○		○	○ ○	a:写真表現やポートフォリオについて関心を持ち、作品について理解しようとしている。 c:カメラの機能や特性、処理方法を理解し、工夫して表現している。 d: 作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考えなどを持ち、理解している。	活動の様子 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。